

平成 28 年 度

八代市議会決算審査特別委員会記録

審 査 ・ 調 査 案 件

1. 正・副委員長互選等について 1

平成 28 年 9 月 23 日（金曜日）

決算審査特別委員会会議録

平成28年9月23日 金曜日

午後1時33分開議

午後2時16分閉議（実時間20分）

○本日の会議に付した案件

1. 正・副委員長互選等について

○本日の会議に出席した者

委員長	松永純一君
副委員長	庄野末藏君
委員	島田一巳君
委員	友枝和明君
委員	橋本幸一君
委員	古嶋津義君
委員	堀徹男君
委員	増田一喜君
委員	村川清則君
委員	矢本善彦君

※欠席委員 君

○委員外議員出席者中発言の許可を得た者

君

○説明員等委員（議）員外出席者

君

○記録担当書記 土田英雄君

松本和美

君

（午後1時33分 開会）

○書記（土田英雄君） 決算審査特別委員会の書記を担当いたします土田です。どうぞよろしくお願いいたします。本来、副担当とし

て鶴田のほうが入る予定ですが、きょうは担当の常任委員会のほうがございまして、きょうは松本のほうが補佐で入らせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。（「よろしくお願いします」と呼ぶ者あり）

それでは、委員会設置後、初の委員会でありますので、委員長が互選されるまでの間、委員会条例第10条第2項の規定によりまして、年長委員が臨時に委員長の職務を行うことになっております。

出席委員中、庄野委員さんが年長の委員でいらっしゃいますので、御紹介申し上げます。

では、庄野委員さん、よろしくお願いいたします。

○年長委員（庄野末藏君） みなさんこんにちは

は。（「こんにちは」と呼ぶ者あり）ただいま御紹介をいただきました庄野でございます。

年長のゆえをもちまして、委員会条例第10条第2項の規定により、私が臨時に委員長の職務を行います。どうぞよろしくお願いいたします。

◎正・副委員長互選等について

○年長委員（庄野末藏君） ただいまから、委員会を開会いたします。

これより委員長の互選を行います。

お諮りいたします。

委員長の互選は、本来ならば、投票によるのが原則であります。指名推薦の方法によってもできます。

いかがいたしましょうか。

○委員（古嶋津義君） そのままして、きょうあいくたい。

○委員（橋本幸一君） 推薦ななかつですか。

○委員（矢本善彦君） あります。推薦でよいかですか。投票にしますか。古嶋さん。投票

にしますか。

○委員（古嶋津義君） さっき投票で声んでたでしょ。

○委員（友枝和明君） 推薦でも、投票でも。
（「小会」と呼ぶ者あり）

○年長委員（庄野末藏君） 小会いたします。
（午後1時36分 小会）

（午後1時37分 本会）

○年長委員（庄野末藏君） 本会に戻します。
それでは、委員長の互選は投票により行います。

なお、投票の結果、得票が同数の場合は、くじで定めることになっております。

委員会室の閉鎖を命じます。

（委員会室閉鎖）

○年長委員（庄野末藏君） ただいまの出席委員は10人であります。

投票用紙を配付いたします。

（投票用紙配付）

○年長委員（庄野末藏君） 配付漏れはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○年長委員（庄野末藏君） 投票箱の点検をお願いします。

（投票箱点検）

○年長委員（庄野末藏君） それでは、順次投票をお願いします。

（各員投票）

○年長委員（庄野末藏君） 投票漏れはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○年長委員（庄野末藏君） 投票を終了いたします。

委員会室の閉鎖を解きます。

（委員会室開鎖）

○年長委員（庄野末藏君） 開票を行います。
会議規則第127条において準用する同

規則第31条第2項の規定により、立会人に、矢本委員、松永委員、村川委員の3名を指名いたします。

立会人の立ち会いをお願いします。

（開票）

○年長委員（庄野末藏君） 選挙の結果を報告いたします。

投票総数10票。これは、出席委員数に符合いたしております。

このうち、有効投票数10票、無効投票数0票。

有効投票中、松永委員6票、村川委員4票。

以上の結果、有効投票の最多数を得られました松永委員が委員長に当選されました。

委員長に当選されました松永委員の就任の御挨拶をお願いいたします。

委員長と交代いたします。委員長席へどうぞ。

○委員長（松永純一君） みなさん、こんにちは。（「こんにちは」と呼ぶ者あり）

ただいま選挙によりまして、決算審査特別委員会の委員長に選任されました松永でございます。かなり膨大な決算を、限られた時間内で審査をするということでございますので、みなさん方の御協力をよろしくお願い申し上げまして、御挨拶にさせていただきます。

しばらく小会します。

（午後1時43分 小会）

（午後1時44分 本会）

○委員長（松永純一君） 本会に戻します。
次に、副委員長の互選を行います。

お諮りします。

副委員長の互選につきましては、本来ならば、投票によるのが原則であります。指名推選の方法によることもできます。

委員のみなさん、いかがいたしましょうか。

(「投票」と呼ぶ者あり)

○委員長(松永純一君) 投票という意見がありますので、副委員長の互選は投票により行います。

なお、投票の結果、得票が同数の場合は、くじで定めることになっております。

委員会室の閉鎖を命じます。

(委員会室閉鎖)

○委員長(松永純一君) ただいま出席委員は10人です。

投票用紙を配付いたさせます。

(投票用紙配付)

○委員長(松永純一君) 配付漏れはありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(松永純一君) 投票箱の点検をお願いします。

(投票箱点検)

○委員長(松永純一君) それでは、順次投票をお願いします。

(各員投票)

○委員長(松永純一君) 投票漏れはありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(松永純一君) 投票を終了いたします。

委員会室の閉鎖を解きます。

(委員会室開鎖)

○委員長(松永純一君) 開票を行います。

会議規則第127条において準用する同規則第31条第2項の規定により、立会人に、友枝委員、島田委員、橋本委員の3名を指名いたします。

立会人の立ち会いを願います。

(開票)

○委員長(松永純一君) 選挙の結果を報告いたします。

投票総数10票。これは、出席委員数に符合いたしております。

このうち、有効投票数10票、無効投票数0票。

有効投票中、庄野委員6票、橋本委員4票。

以上の結果、有効投票の最多数を得られました庄野委員が副委員長に当選されました。

副委員長に当選されました庄野委員の就任の御挨拶をお願いいたします。

庄野委員、副委員長席へどうぞ。

○副委員長(庄野末藏君) どうも。私ということでございましたので、本当にこう、重大な責務を負うということ、大変でございますけど、松永委員長と話し合いながらですね、みなさんと、また一生懸命協議しながら、前に進めていきたいと思っております、どうぞよろしくお願いいたします。

(「お願いします」と呼ぶ者あり)

○委員長(松永純一君) それでは、今後の委員会の進め方などについて、副委員長、事務局と打ち合わせを行いたいと思っておりますので、しばらく休憩いたします。

(午後1時51分 休憩)

(午後2時01分 開議)

○委員長(松永純一君) それでは、休憩前に引き続き、会議を開きます。

ただいま打ち合わせを行いました結果について事務局から説明をいたさせます。

○書記(土田英雄君) それでは、正副委員長との協議結果について、御報告申し上げます。

この後、委員会日程について御協議いただきますが、その前提としまして、審査方法と審査日数について正副委員長に判断していただいたところです。

まず、審査方法については決算審査を効率的かつ効果的に行うために、どの資料に基づいて説明を行うほうが、より委員の皆さんが理解しやすいかということを主眼に、一般会計の歳入と歳出、特別会計の歳入と歳出の4つに分けて検討していただきました。

説明の方法としましては、まず、歳入については、主要な施策の成果に関する調書などによる説明では概略過ぎてわかりにくく、決算書による説明のほうが詳細でわかりやすいということで、昨年度同様、決算書に基づき説明を行うこととなりました。

次に、歳出については、決算書による説明では数字が細かくなり過ぎて、事業の全体像や財源内訳等がわかりにくく、主要な施策の成果に関する調書のほうが、施策や事業の単位で大きな視点から把握することができ理解しやすいということで、昨年度同様、主要な施策の成果に関する調書などに基づいて説明を行うことになりました。

なお、不用額等の説明につきましては、主要な施策の成果に関する調書とともに、決算書に基づいて説明を行うこととなりました。

また、審査日数につきましては、昨年度の状況から、6日間ぐらいが適当だろうということになりました。

以上、正副委員長との協議結果を御報告いたします。

○委員長（松永純一君） ただいま、事務局から説明がありましたように、一般会計及び特別会計の歳入については決算書、一般会計及び特別会計の歳出については主要な施策の成果に関する調書などに基づいて審査を行いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（松永純一君） 御異議なしと認め、そのように決しました。

ほかに、委員会運営について何かありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（松永純一君） ないようですので、委員会の進め方については以上のようにお願いいたします。

それから、今回の決算審査に当たりまして、2枚つづりのレジュメを配付しておりますので、次回の委員会まで御一読いただき、参考にしていただきたいと思います。

それでは、委員会日程について協議願います。

しばらく小会します。

（午後2時03分 小会）

（午後2時14分 本会）

○委員長（松永純一君） それでは、本会に戻します。

委員会の日程につきましては、ただいま御協議いただきましたとおり、10月の3日月曜日、10月4日13時からの午後、10月5日・6日、10月12日10時から午前中、13日の午前中を審査とし、午後を予備日といたします。これに御異議ありませんでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（松永純一君） 御異議なしと認め、そのように決しました。

次に、閉会中の継続審査の申し出についてお諮りいたします。

本委員会に付託されております平成27年度八代市一般会計歳入歳出決算及び特別会計歳入歳出決算10件の決算議案11件については、なお審査を要すると思いますので、引き続き、閉会中の継続審査の申し出をしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（松永純一君） 異議なしと認め、

そのように決しました。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

次回の委員会は10月3日月曜日、10時開会となっておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、これで本日の決算審査特別委員会を散会いたします。

(午後2時16分 閉会)

八代市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

平成28年9月23日

決算審査特別委員会

委員長